

専攻科 5月21日（水）

第3回講座 「里山の生物調査実習」

講師 北澤哲弥氏（江戸川大学非常勤講師）

日時 平成26年5月21日（水） 10:00～15:00

場所 千葉市郊外小倉谷津

千葉市郊外で第2回目里山講座

テーマは、谷津の植物調査

新緑が美しい季節になった。北澤哲也講師による第2回目里山講座は、千葉市郊外小倉台の緑滴る谷津で行われた。今回と次回は、この谷津と隣接する雑木林をフィールドに野草を観察し、実習する講座。今日の天気は生憎の雨となったが、事務局で手配されたこの地区の集会所の室内で講義を聞き、雨の状況を見計らって谷津田に出向き、約2時間、3班に分かれて野の草を観察した。

調査方法は、観察した植物の名称、農道や畔、林縁など採取した場所の特徴などについて専用の調査用紙に記録するもの。雨足が強くなった午後は、集会所に戻り採取してきた植物について、講師の指導で植物名の同定や簡単な解説などを聞きながら記載事項のチェックを行う。3班で採取してきた植物は合計45種を数えた。今日の植物観察は花が咲いている野草を中心に行われる計画であったが、専攻科に進まれた方たち、玄人はだしの人もおられ、稲科の花の咲かない野草など専門家も苦勞する植物を採取してきた班もあった。



北澤 哲弥講師



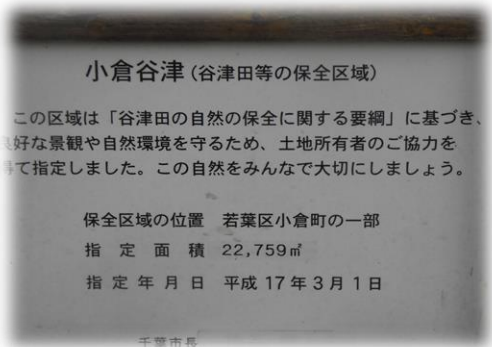
小雨になったのでさあ、出発しよう



小倉谷津の全景。典型的な美しい谷津風景だ



谷津に至る道端で、群生するナガミヒナゲシについて解説される講師



小倉谷津は、千葉市の谷津田保全区域であるとの案内板があった。



農道で植物の観察を行う班。何気ない農道でも、観察してみるといろいろな野草が目についた。



傘を差しながら谷津田の畔道で観察中の班。



畔に咲いていたホトケノザ。別名のサンガイグサ (三階草) は、茎が段々につくことからとか。



ノゲシ。ケシと名が付くが葉がケシに似ているだけでキク科植物。レタスの仲間とか。



この花は何だ？仲間が首を傾げた
が、講師に尋ねるとハルジオン。
雨に濡れて頭を下げていた。



畑の法面はブタナの黄色とハルジオン
の白色が目立つ。野蒜もあった。



雑木林の林縁を歩く。雨に煙った景
色も里山だと風情を感じる。



北澤講師の解説を熱心に聞く。

